

# NPO 通信 & 地域連携委員会便り 令和5年11月20日

発行者：特定非営利活動法人 やわた創生プロジェクト 事務局  
庄原市東城町森 2668-2 八幡自治振興センター内 TEL08477-4-0205



～この取り組みは共同募金の支援で行っています。～



## フリースペース「森のカフェ」の開催について

- 日時 令和5年12月10日(日)  
9:00~11:00(予定)
- 場所 「森のカフェ」 (東城町森 旧川本商店)
- 内容 ①交流市場(戸外) 人気があります。お楽しみに!

地域のいろいろな冬野菜・蜂蜜等を販売します。

売上げの2割を「森のカフェ」の運営資金にあてさせていただきます。出品協力いただける方は、ご連絡ください。

### ②体験コーナー(しめ縄作り)

お正月用の簡単なしめ縄を作ります。出来上がりは、いろいろと自分なりにアレンジも出来ます。講師には、米花一司さん(八幡地域)をお願いしています。ぜひみんなで体験してみましょう!

\*ホッカホカの焼き芋の土産があります。

休憩タイムには、ホットな飲み物を準備しています。

### ○参加について

- ・参加費 100円 ・準備物 マスク・タオル・はさみ
- ・申し込み 12月8日(金)まで 保育園 4-0501 川本宅 4-0335
- ・感染予防 各自でお願いします。発熱等あれば参加を控えてください。

みんなで楽しみましょう!



## 「森のカフェ」の報告(10月29日)

季節の花を使ったフラワーアレンジメントでは、カップに入ったオアシスに菊を中心とした花を自由に活けました。当日は、高柴廣子さんが準備&指導してくださり、素敵な作品が全員出来ました。きっとまだ、お家で咲いていることと思います。

また、団子作りでは、ふっくらと柔らかい団子が出来上がり、黄な粉もかかって美味しくいただきました。ご協力ご参加くださり有難うございました。



## ぼんぼこ秋祭り(10月28日)

恒例の秋祭りで西城紫水高校の大蛇退治と餅まき、ぼんぼこ山保育園の子ども神楽が演じられ、多いに盛り上がりました。後半では東城中学校吹奏楽部と地域の女性バンドの演奏に聴き入りました。今後も樽御輿が地域をねり歩く等、郷土芸能の継承や地域とのコラボを大切にしていきます。



## 住民3人の限界集落等の視察研修の報告(鳥取県にて)

フリースペース「森のカフェ」の実行委員会では、11月5日に限界集落の板井原地区にある古民家カフェ「和佳」を視察しました。カフェのオーナーは都会から移住した若い女性で、経営が成り立つかどうか不安でしたが、今では年間3,000人を超えるお客があるそうです。集落の住民3人しかおらず集落の欠点が目につきやすいが、外部の人には集落の長所が見えているそうです。過疎が問題なのではなく過疎の心が問題であると話されました。続いて第3セクター(県・沿線市町&民間)の若桜鉄道の体験乗車をしました。車内は昭和レトロ調の装飾で大変に魅力的でした。沿線の風景は梨や柿などの果樹園や水田が広がり、小さな木造の駅舎はそれぞれの特徴をだしていました。過疎地域の新しい姿を観ることができました。

最後に訪れた大江ノ郷自然牧場は、3階建ての縦ガラス張りで、まるで山奥に神戸の街が引越してきたようでした。お土産に買った天美卵と東城コシヒカリの卵かけご飯を食べながら、卵によって過疎地域が若者が集まる地域に変わることを実感しました。



「和佳」での交流会



若桜鉄道